

ドニゼッティのナポリの家



1828年6月1日、ドニゼッティはローマのサンタ・マリーア・イン・ヴィーア教会でヴィルジーニャ・ヴァッセリと結婚式を挙げ、二人はすぐにナポリに移り、ナルドネス通り6番地（現在の14番地）のアパートに住む。店やアパートが雑然と並ぶ小路にある建物は、現在はカーザ・ドニゼッティ Casa Donizetti（ドニゼッティの家）という名前のホテルになっている。壁には「1837年にこの家に住んでいたガエターノ・ドニゼッティの思い出として」と記されている。また「1835年にこの家で『ルチーア』が作曲された」とも記されている。

ヴィルジーニャが亡くなった後、ドニゼッティはこのアパートを売ろうと思ったがとどまった。1839年9月15日のドルチに宛て手紙に、「今年はまだ全部売ってしまいたかったのですが、来年戻って来た時に仕事をするための家がないと思ったら、全部売る勇気がありませんでした、と言えはわかるでしょう…。だから、全て残り、全て管理され、'43年に全てが私を迎えてくれるでしょう。」と、このアパートへの想いを綴っている。